地図と写真でみる 佐那河内の今昔

佐那河内村は、近世の国絵図などでは「中辺村」「嵯峨村」「佐那河内村」などと表記され、「文化弐丑年（１８０５）閏八月十日　上下佐那川内村絵図」（長尾家文書）には８つの「名」（みょう）や数多くの小地名が記載されています。

他方、令和６年（２０２４）１月２３日～２月９日に開催された「古（いにしえ）の写真展　懐かしき佐那河内の光景Ｐａｒｔ１」では、明治以降の古写真も数多く展示されました。

講演では、こうした古地図や古写真・空中写真を通して、佐那河内村における景観の歴史的変化について考えます。

佐那河内村学術講演会

1.19 令和7年 日曜

10:00~12:00（終了予定）

参加無料 **佐那河内村役場**（村民ホール）

講師 **平井 松午**

ひらい しょうご

阿波学会会長・徳島大学名誉教授

1954年　北海道帯広市生まれ。
1977年3月　立命館大学文学部地理学科卒業。
1982年3月　立命館大学大学院文学研究科単位取得満期退学、
同年4月に徳島大学着任。2013年から総合科学部長を勤め、2019年徳島大学を退職。
専門は歴史地理学、歴史GIS、地図史。主な編著に
『〈稿本・大名家本〉伊能図研究図録』、『伊能忠敬の地図作製』、
『国絵図読解事典』、『近世城下絵図の景観分析・GIS分析』、
『近世測量絵図のGIS分析』、『絵図学入門』などがある。

さち香る 風の谷

SANAGOCHISON

■主催：佐那河内村
■後援：阿波学会

お問い合わせ 企画政策課 TEL088-679-2973